

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 要する期間
1	1・11	地域密着サービスの意義を踏まえ『人と人、心の和を大切に』という基本理念の「理念」の意味を再度振り返り自分自身見つめなおしてみる。私たちに足りないものは、声かけ・笑顔。職員間のコミュニケーションにより、利用者とお互いに楽しもうという心構えを持つ。	職員同士の挨拶が行き届いた「笑顔」のあるホームとなる。	挨拶をされたなら、手を休め顔を向けて「聞こえた」意思表示をし、笑顔で挨拶を返す。勝手に、「自分は今これをしているから」と自分に甘えた言い訳しない。申送り等は送る側受ける側がお互いに確認する。挨拶は気持ちよく笑顔で、声ははっきりと。	6ヶ月
2	10・20	来苑者には、挨拶と笑顔での対応。職員の態度の善し悪しで意見要望も出やすくなるのでは。家族が来苑しやすい雰囲気作り。外来者には、だぶっても良いので必ず声かけする。	利用者・家族がどの職員にも、安心して意見要望が言えるような関係になる。気軽に来苑出来る雰囲気にする。	来苑者(家族・事業者全て)には、必ず立ち止まって挨拶をし声を掛ける。待っている様に見える方にも「お聞きしていますでしょうか?」と声を掛ける。家族を見かけたら、出向いて行き声を掛ける。顔を見て笑顔で、声ははっきりと。	6ヶ月
3	23・40	理念を再確認し、自分だったらでは無く利用者の生活暦等を捉えその中で利用者の思いや意向を確認していく。黙って静かなのは穏やかで落ち着いているとも限らない。	利用者と共に、会話を楽しもうという心構えでコミュニケーションを持つ。利用者・職員お互いに甘えることが出来る関係になる。	出勤日は、ユニット内の利用者様全員と話をすること。正面から顔を見て、笑顔で、声ははっきりと。他ユニットの利用者様にもお会いしたら声を掛ける。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。